

医療連携 だより

第21号

平成23年3月行

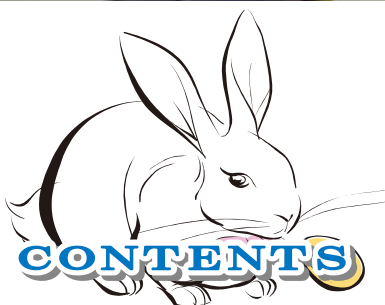


発行：榛名荘病院 医療連携室

〒370-3347 群馬県高崎市中室田町5989
<http://www.harunaso.or.jp>

榛名荘病院の基本理念

1. 生命を尊重し、安全で良質な医療・介護を提供します。
2. 患者・利用者様の意志と権利を尊重します。
3. 医療・介護技術向上のため、研鑽に努めます。
4. 地域医療、福祉のために寄与します。



▶ 心臓血管外科が稼働開始	2
▶ はるな脳外科の新MRI導入	3
▶ あげぼの苑高崎 施設長の交替/季節の行事	4
▶ ケアセンター榛名荘 第二デイオープン	5
▶ 第33回群馬脊椎脊髄疾患研究会の開催	6
▶ トピックス	7
▶ 外来診療担当表	8



心臓血管外科 町田 政久 外科部長

待ちに待った循環器系X線診断装置・・・稼働開始！

平成22年の6月に榛名荘病院に着任させていただきました。簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和61年新潟大学医学部を卒業し、北海道大学第二外科学教室に入局しました。ここで多くの外科手術を経験し、日本外科学会認定医、後に専門医を取得しました。手術以外にも集中治療管理、救急医療、麻酔科なども研修、実践する機会を得ました。その後、専門性を深めるため、北海道大学循環器外科に進みました。ここでは、多くの心臓血管外科手術や体外循環、人工透析に携わる機会を得て、心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術（当初はバルーンカテーテルしかない時代でした）さらには肝臓癌に対するカテーテル塞栓術、下肢閉塞性動脈硬化症に代表される、いわゆるPAD（末梢血管疾患）に対する血管内治療も数多く経験する機会を得ました。つまり、心臓血管について外科手術とカテーテル治療とを併行して研鑽する時期を長く経験し、11年前に出身地である群馬県高崎市に戻ってきました。その後、前任地である日高病院では心臓血管撮影室を立ち上げ、2千件を超えるカテーテル検査治療を行ってきました。透析治療を中心とする病院であったため、透析患者様が多かったことは言うまでもありません。また、あくまでもカテーテルにこだわることなく、手術が適した病変には手術も行ってきました。これまでの経験を生かし、ここ榛名荘病院でも3月より心臓血管撮影室を新たに稼働し専門性を生かした診療を行っていきたいと考えています。透析患者様の対応も可能です。



町田 心臓血管外科部長



起工式の様子



X線装置設置準備中の様子

〈所属学会〉

- 日本外科学会
- 日本胸部外科学会
- 日本循環器学会
- 日本心臓血管外科学会
- 日本脈管学会
- 日本血管外科学会
- 日本心血管インターベンション治療学会
- 日本透析医学会 など

雑感

我々は豚か？いや、猫か？世の中でいう「いいもの」「高級な物、手に入れ難いものなどが手に入ったとき、そのものが持つ本来の良さを自ら生かすことが出来るかどうか。ここが豚や猫になる分かれ目のようである。ダイエットの話しではない。

このたび、はるな脳外科のMRIが更新され榛名荘病院では血管造影用の透視が新規導入された。MRIは長年O.5テスラ機種で診断を行ってきた。旧機種ではすでに画像診断の進歩から取り残された感はない。

めず、新機種の導入により、ようやく他医からの紹介状に添付された資料と同等の画像に追いついた・・・と言うのが普通の意見のようであるが「果たしてどうか？自分は豚や猫になってはいないか」と考えてみる。今までの旧機種に比べて綺麗だと喜んでいただけではまだ豚である。撮像の時間が早くなった。「ニヤ」である。我々には今までの旧機種でも他の医療機関に負けない、高度かつ専門的な診断と治療を行ってきた自負がある。（蛙だったららこめんなさい）

MRIの新機種が導入されてさらに我々の診断と治療の質が向上するかはMRIの画質によるのではなく、その画像を見る我々の能力のバージョンアップにかかっている。「新規」のMRIの導入は間違いなく医療の質の向上に貢献すると思うが機種の更新は「新規」ではない。豚や猫にならないように、新しい機種に期待するのはなく、我々の診断と治療の更なる質の向上を期待されるように、新しいMRIを使いこなしたいと思う。

血管造影用の透視は新規導入である。医療の質の向上に役立つこと間違いない。期待したい。

群馬脊椎背髄病センター
医師 登田 尚史



はるな脳外科 野尻 健 院長

待望のMR I (磁気共鳴画像装置) の入れ替え完了!

はるな脳外科は平成9年11月に開設して以来今年で14年目を迎えました。開設当時設置したMR Iはこの間多くの方々の診断に活躍してきましたが、今では少し旧式のものとなり、今年2月に高磁場の新しいMR Iを導入しました。今までの機種に比べて脳、脊髄の断面や血管を描出する基本的な機能に変わりはありませんが、短時間で鮮明な画像が得られることから、日常の外来、入院診察に大いに役立っていることは言うまでもありません。一方この1ヶ月使用した経験から私達が取り組んでいる脳卒中の救急医療現場でもMR Iの果たす役割に少し変化が出てきました。

血栓を強力に溶解するt-PAという薬があります。頭頸部の血管が閉塞した時に血栓を溶解して血流を再開させ、しゃべれないとか手足が動かない等の症状を劇的に改善することが期待されます。しかし投与するタイミングが悪くすでに脳梗塞となって脳の細胞が死んだ後に血流が再開すると症状が改善しないだけでなく脳腫脹や脳出血が出現し、かえって状態を悪くしてしまいます。このためこの薬を投与する適応には厳格な基準が設けられており、発症から3時間以内に投与しなければならない時間制限と画像上脳梗塞がないことを確認する画像診断が重要なポイントになっています。この画像診断にはCTを用いてきました。脳梗塞超急性期の場合、今までのMR Iでは満足できる画像が得られなかったからです。今回導入したMR Iは短時間で梗塞の有無、血管の閉塞部位を明瞭に描出でき、動きのアーチファクトにも強く、意識障害があっても多少頭を動かしても十分に診断できる情報を得られることがわかりました。今まで脳卒中の救急現場においてMR Iを積極的に利用するのは困難とと思っていましたが、これからは日常的に用いることができ大変な進歩と感じられます。

MR Iは大変高価な機器ですが脳、脊椎脊髄疾患を診断するのになくてはならないものです。私達はこのMR Iを十分に活用して病気の治療をしていきたいと考えております。

新しいMR装置導入について

このたび、当院に新しいMRシステム〔GE社製 Optima MR360 1.5T〕が導入されました。本機は、関東1号機となる最新鋭機で先端技術を取り込んだアプリケーションを搭載し、数多くのニーズに応えられる仕様となっております。これにより、従来のMR装置における検査と比べ、大きく二つの点で改善されています。第一に患者様に優しい装置であること。この装置はその性能から大幅に検査の適応幅を増やしました。よって、今まで他の検査機器に依存しなければならなかった診断も本機を使用することにより、簡単かつ安全に行うことができ、検査を受ける患者様も安心して検査を受けることが可能です。また、性能の向上により、これまでの検査より短時間で撮影することが可能となりました。MR I検査が苦手な患者様に対し、短時間で終了することで苦痛を大幅に軽減することができます。第二に検査の情報量の多さです。この先端技術によるアプリケーションは新たな撮影法として患者様の身体の状態をより把握することにつながります。今までのMR I検査では知りえなかった情報を、簡単にかつ、鮮明に描出することができることで、患者様の病気の検出能力を一段階引き上げることができます。

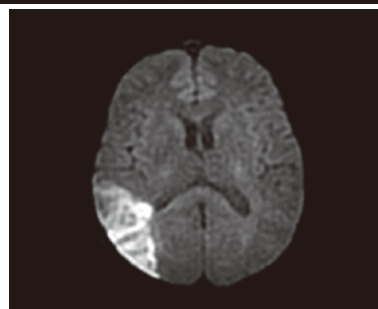
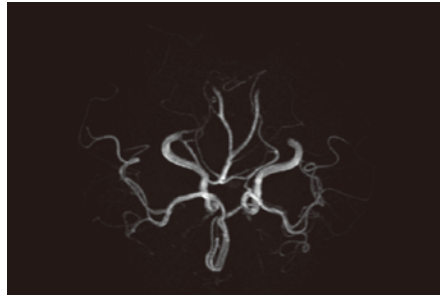
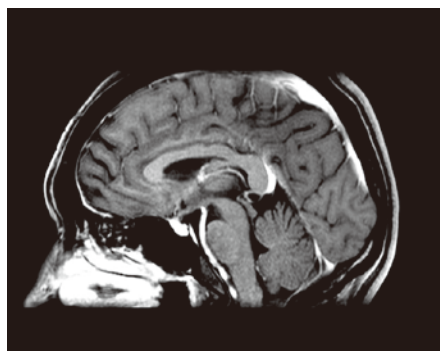
それは、患者様の利益になることはもちろん、診断を行う医師にとっても今後の治療を行ううえで、大いに役立つものとなるでしょう。

MR I装置は現代医療において欠かすことのできない診断機器です。その用途も頭、脊椎、関節、腹部など様々な部位の診断に使用され、より多くの患者様が利用し、また多くの医療関係者が活用し治療に役立っています。新MR I装置導入にあたり、当院もその担い手として地域医療に貢献できれば幸いです。

放射線課 課長 笹澤 秀行



野尻院長



笹澤課長



介護老人保健施設 あけぼの苑高崎 の施設長であった中嶋廣志先生が本院勤務となりました。それに伴い新たに高橋徳之先生が施設長に就任されました。

中嶋先生のお人柄：中嶋先生はスポーツがお好きな反面、音楽（聴く・弾く・歌う）や、絵を描かれるなど芸術家でもいらしゃいます。「群馬県は山紫水明でいいですね。生まれ故郷なのにまだ知らないところも多いんだよ」といつも優しい笑顔の中嶋先生です。魚釣りは苦手とか・・・

あけぼの苑高崎の皆さんとは涙のお別れをしましたが、今後も週に一度、木曜日はあけぼの苑高崎での勤務となりました。引き続き皆さんにお会いできることを大変嬉しく思っております。本院での勤務はしばらくぶりですが、外来のほか、あけぼの苑（東棟・西棟・通所リハビリテーション）でも音楽などをお世話になりますので今後ともよろしく願いいたします。

中嶋 廣志 先生
（整形外科）
なかしま ひろし



就任のあいさつ



たかはし とくゆき
高橋 徳之 先生
(内科)

このたび、平成23年1月1日付けで、はるな脳外科に併設されている“介護老人保健施設 あけぼの苑高崎”に中嶋施設長の後任として着任しました。本院の“あけぼの苑”は県内の老健のさきがけのひとつであり、この伝統ある老健と共に当苑をさらに発展させ、介護される人も介護する人も安心して安らぐことができるようにしてゆきたいと思っております。今、老健も含めた医療福祉の分野では、少子高齢化現象が大きな社会問題になっています。病院や介護施設への社会的入院や入所希望者の増加、経済的な医療難民の増加、および医療や介護の地域格差の拡大は、医療福祉政策の最重要課題になっています。この対策の一環として、地域連携パスの構築が求められています。つまり医療施設と介護施設が地域の診療所と連携して住民の健康を守っていくというものです。この連携パスが今後の医療福祉政策の重要課題の一つになると思われます。世界に類を見ない少子高齢化社会を迎えた日本が、今後模索していく道はモデルケースとして残っていくでしょう。来年行われる医療と介護報酬の同時改定が今後の人類の一指標となることを祈っています。暗中模索の医療と介護の世界ですが、この地に国内のみならず国外にも誇れるような老健施設を作ることを夢に見て、これからの職場作りに尽力するつもりです。今後ともご指導とご鞭撻をお願いいたします。

【日本糖尿病協会療養指導医・日本医師会認定産業医】

季節の出来事

地域の行事

(中室田町)

滝不動尊

国道四〇六号を倉沢町方面に進んだ左手にある秀巖山しゅうがんざん

滝水院大福寺（滝不動尊）

は、江戸時代前期に誕生。戦前までは精神疾病の治療の滝場として知られていた。

「ご本尊の不動明王は「現世利益」「息災延命」などの御利益で知られ、新年を迎えて開かれる「初不動」は、午前十時から午後五時まで一時間ごとに護摩を焚いて祈禱を行い、境内には露店も並び。その功德をあずかろうと県内外から多くの参拝者が訪れる。



はるな夢工房

ついにオープン

はるな夢工房（旧榛名町室田農協跡地）は、総合ケアセンター榛名荘の2つ目のデイサービスとして、平成23年1月15日（土）、多くの皆さまのご協力により無事オープンを迎える事ができました。

はるな夢工房の事業形態は一般型デイサービスですが、他の事業所とは違う特徴を持っています。それは、現在少しずつ問題が顕在化してきている「若年性認知症」や「高次脳機能障害」になられた方にも利用していただける施設を目指した点です。今までこのような施設は群馬県になかったため、若くして病気を発症された方は高齢者中心のサービスに馴染めずどうしても自宅で過ごす傾向にありました。すなわち家族の負担も相当なものでした。若年性認知症や高次脳機能障害の方々は、「仕事」「就労」への意識が高いのも特徴です。そんな思いをかなえるために私たちは就労型デイサービスを目指します。

はるな夢工房では、若年性認知症・高次脳機能障害の方々が利用したくなるような事業所にするため、あらゆる専門スタッフによるサポート体制を整えました。中期的には、群馬版就労型デイサービスを確立し普及させていくこと、最終的には本格的な就業につなげていければ最高と考えています。

走り出したばかりで色々な問題にぶつかると思います。地域や関係各所の皆さまのご協力なくして実現はかないません。どうぞ宜しくお願いいたします。



営業時間 午前8時30分から午後5時30分 サービス提供時間 午前9時から午後4時
営業日 月～土・祝日（12/30～1/3除く） *日曜日の利用も相談可

財団法人榛名荘 総合ケアセンター榛名荘 はるな夢工房

群馬県高崎市下室田町1060番地2

電話番号 027-386-6601

FAX 027-386-6602

携帯番号 090-1550-0859

相談員 篠原・春田

スタッフのご紹介



どうぞよろしくお願いいたします。

看護師長	山川 ゆり	看護師	田嶋みゆき
相談員	篠原 彰則	歯科衛生士	戸塚千代子
相談員	春田 麻子	作業療法士	中澤 公恵
看護師	峯岸 智子		
介護士	土屋 佳子		
介護士	竹内紀久子		
介護士	松本美智子		

第三十三回群馬脊椎脊髄疾患研究会が開催される

第33回群馬脊椎脊髄疾患研究会が2月12日前橋市のマーキュリーホテルで行われました。

この研究会は①専門職としての使命感②継続的な学習と臨床能力の保持③公平・公正な医療④医療の質と安全⑤医療情報の交換等の目的で開催されています。

多くの参加者で賑わう中、この日の研究会では2題の特別講演が行われました。はじめに、清水敬親センター長による講演「サルベージ手術から見た脊椎脊髄外科のあり方」があり、つづいて今回お招きした東海大学医学部の持田譲二教授による「椎間板再生研究—臨床応用への道と今後の展開について—」のご講演をいただきました。



2011年2月12日(土) 前橋マーキュリーホテルにて



写真左から (富岡総合病院) 柘植副院長、(東海大学) 持田教授、清水センター長

清水センター長は時として我々外科医が遭遇する、術後成績不良や疾患を再発した際の治療の取り組み方、また脊椎脊髄外科医として必要な心構えなどを、実症例をあげてお話しされたので、大変興味深く今後に役立つ意義ある講演でした。

また、持田教授には椎間板の再生を目指した研究についてご披露いただきました。試験管レベルや動物実験などの基礎実験をへて現在では椎体間固定を行った際に摘出した椎間板から髄核細胞を分離して骨髄幹細胞と共培養を行い、活性化させた髄核細胞を固定隣接椎間の椎間板髄核組織に移植して椎間板の再生(若返り)を期待する臨床試験を進めているとの内容でした。

固定隣接椎間の椎間板変性については、多くの患者さんや我々、脊椎脊髄外科医が向き合っていかなければならない問題であり、この臨床研究に大きく期待したいと思います。



群馬脊椎脊髄病
センター

医師
登田 尚史

Topics



合同慰霊祭がしめやかに行われました

去る平成22年11月19日(金)午前11時より榛名聖公会教会において秋葉晴彦司祭による合同慰霊祭が行われました。過去1年間(平成21年10月21日から平成22年10月20日)の間に当財団でご逝去された方々のご家族と共に、心からのご冥福をお祈りしました。



韓国 Daewon大学の理学療法学生がリハビリテーション部を見学に見えました

平成22年12月22日にDaewon大学の学生20名がリハビリテーション部の見学に見えました。これは、Daewon大学が群馬大学で行った研修の一環であり、当日は午前10名、午後10名の2班に分かれ、それぞれ約2時間、PT・OT・STの3部門と併設の老人保健施設のリハビリを見学していただきました。



ノロウイルスの感染対策について学ぶ

ノロウイルスは2006年以降毎年日本で流行しており、感染力が非常に強い為、万一発生が確認された場合の適切な対応が重要になります。そこで今回は全職種を対象にノロウイルスについての知識を深め実践に生かす為、予防対策は勿論、吐物の処理の仕方に焦点をあて具体的な方法を学びました。



JAはぐくみ“すみれの会”のヘルパーさんがリハビリ研修にみえました

平成23年2月10日、ヘルパーさん20名がリハビリテーション部の見学と受講(筋力トレーニングの実際)を兼ねて来院されました。すみれの会ではミニデイサービスを行っており、筋力トレーニングを取り入れているとの事でしたので、少し専門的なお話もさせていただきました。ヘルパーさん達は皆さんお元気でこちらが圧倒されるようでした。



平成22年度 看護研究発表会が開催される

平成23年2月23日と25日の2日間にわたり中央病棟4階多目的ホールにおいて「看護研究発表会」が盛大に開催されました。これは毎年行われているもので今回は11演題が発表されました。この中から特に優秀なものについては、群馬県看護学会に参加を検討していきます。研究・発表された皆さんお疲れ様でした。



榛名荘病院

〒370-3347 高崎市中室田町5989 TEL 027-374-1135 FAX 027-374-1139



【診療科目】

内科、呼吸器科、胃腸科、循環器科、外科、
整形外科、リハビリテーション科、放射線科、
歯科、麻酔科、神経内科、精神科、眼科、皮膚科

【外来受付時間】

午前8時30分～午前11時30分
午後1時30分～午後5時
(休診は土曜日午後・日曜日・祝祭日・年末年始)

【病床数】 231床

- > 一般病棟 112床
(障害者施設等一般病棟40床、
回復期リハビリテーション病棟32床を含む)
- > 療養病棟 119床
(回復期リハビリテーション病棟59床を含む)

外来診療担当表		月	火	水	木	金	土
内科	午前		小林(調)		河石	高安	黒岩(敬)
総合診療 内科	午前		黒岩(雅)				
	午後		黒岩(雅)				
外科	午前		高橋(第1・3週)		中曾根		
			茂原(第2・4週)		大嶋		
	午後		高橋(第1・3週)	清水 (呼吸器)	大嶋		
			茂原(第2・4週)				
心臓血管 外科	午前		町田		町田		
	午後				町田		
神経内科	午前					橋本	
	午後					橋本	
呼吸器 内科	午後				相原		
糖尿病 外来	午前						岸野
循環器 内科	午前						中村(第1・3週)
	午後						清水(第2・4週)
神経科	午前				黒崎(第1・3週)		
	午後		井田(第2・4週)				
皮膚科	午後				群大		
眼科	午後			得居(第1・3週)		高橋(第2・4週)	
歯科	午前			宮崎			神野
	午後		根岸		横尾		

はるな脳外科

〒370-0871 高崎市中室田町827-1 TEL 027-343-2220 FAX 027-343-1197



外来診療担当表		月	火	水	木	金	土	
脳神経 外科	午前	初診	野尻	倉地	野尻	倉地	野尻(第1・3・5週) 倉地(第2・4週)	野尻(第1・3・5週) 倉地(第2・4週)
		再診	倉地	野尻	倉地	野尻		
	午後	初・再	野尻	倉地		倉地		野尻(第1・3・5週) 倉地(第2・4週)

【診療科目】 脳神経外科、リハビリテーション科

【外来受付時間】 午前8時30分～11時30分 月、火、木、土曜の午後2時～午後4時 (休診は日曜日・祝祭日・年末年始)

【病床数】 19床

群馬脊椎脊髄病センター

〒370-0871 高崎市中室田町828-1 TEL 027-343-8000 FAX 027-343-6622



外来診療担当表		月	火	水	木	金	土			
脊椎脊髄 疾患	午前	清水 真鍋 多々羅	登田 田内	井野 登田 田内	笹木 井野	笹木 真鍋 中尾	側弯症外来 (再診)	側弯症外来 (初診)	一般外来	
							(第1)	真鍋	田内	
							(第2)	清水	井野	笹木
							(第3)		井野	登田
							(第4)	清水	真鍋	多々羅
午後		清水 多々羅					不定期	松原		

【診療科目】 整形外科(脊椎脊髄病疾患)、リハビリテーション科

【外来受付時間】 午前8時30分～午前11時30分 (休診は土曜日の午後・日曜日・祝祭日・年末年始)

★入院、手術は病棟部門の榛名荘病院で行います。

※完全予約制 電話予約受付時間 15時～18時

交通案内



榛名荘病院 室田の交差点から
約2.5km、お車で約3分です

はるな脳外科
群馬脊椎脊髄病センター

診療内容や患者さまのご紹介に関すること等
お気軽にお問い合わせ下さい

榛名荘病院 医療連携室

〒370-3347 群馬県高崎市中室田町5989

TEL 027-374-2895 (直通)

FAX 027-374-2896 (直通)

E-mail renkei@harunaso.or.jp

《編集後記》

月日が経つのは早いもので、年度末を迎え何かと気ぜわしい毎日をお過ごしのことと思います。今更ですが忙しいという字は心を亡くすと書きます。どんなに多忙でも心は亡くさないように心掛けたいですね。花粉の量も今年は容赦ないようです、どうぞお大事に◎